

# 新病院が目指すもの 広報げろ 2011.7

新病院が目指すもの (I)

下呂市立金山病院 院長 古田智彦

現在、新病院の建設現場では、一階部分が免震装置の上に乗って立ち上がっています。新病院では新しい機能が加わるのではなく、今までなかったり不十分だった病院運営に必要な機能を出来るだけ充実することを目指しています。

## ◎空調設備

現在は老朽化のため効率が悪く、夏場は騒音のため深夜運転が不可能となっており、入院中に熱中症といったことにもなりかねません。療養病棟では冬季凍える寒さです。また、どの部屋も臭いがこもる状態です。新病院では空調関係が大きく改善されます。

## ◎患者入浴設備

入浴は患者の状態改善のために極めて有効な方法ですが現在の療養病棟には専用の入浴設備がありません。入浴設備の新設は療養環境の改善に貢献するでしょう。

## ◎入院患者食堂。

食事の大切さは言うまでもありませんが食堂で食事をとることは患者の状態の改善、退院前訓練、介護の軽減にも極めて有効です。また施設基準からも必要となっています。

## ◎居室の広さ、廊下の広さ

居室や廊下の広さは病院の施設基準で決まっており新病院では是正されます。

## ◎病診連携室

病院のもっとも重要な役割は患者の入院治療です。患者の入退院に際しては様々な社会的な問題が生じます。これらを解決するためにメディカルソーシャルワーカー (MSW) を配置し活躍できる専用相談室を設けました。

## ◎救急室の整備

交通事故などの高エネルギー外傷を搬入から処置まで効率的に行える体制をとり、緊急の超音波診断やレントゲン撮影が患者を移動させることなく行える体制を整えます。

## ◎図書室・病理解剖設備

現在では病院に勤務する医師のほとんどは専門医になることを望んでいます。患者側でも専門医を望む風潮があります。『専門医でもないのに』などと医師にとってはつらい言葉も聞かれることがあり専門医志向に拍車をかけています。内科や外科で専門医の資格が取れる病院として図書室のある事、病理解剖ができる設備を有することが必須となっています。図書室は論文を書くために参考となる医学雑誌を常備し、日常の診療においても日進月歩の診療を支えるために多くの医書の常備が必須です。

## ◎検診受診者と一般患者の分離

検診は病院運営にとって極めて重要な収入源です。多くの方々に快く検診を受けて頂くためにも一般患者との分離が念願でした。一部の検査で共同使用もありますが。待合室、更衣室などは完全分離となります。

## ◎霊安室

本来病院にあるべき霊安室を設けました。